リアビジョン（天井取付型）取付説明書

このたびは、アルパイン製品をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。
本書はリアビジョン（天井取付型）の取付方法について記載しています。
取付け前には本書を必ずお読みいただき、正しい取付けを行ってください。
本書に記載の取付位置以外の場所、または取付方法以外の方法で取付けられたものについては、
取付作業者の責任となります。取付け後は、本書および「取扱説明書」を必ずお客様にお渡しください。
お客様は、説明書をいつでも見られるところに保管してください。

安全に関する表示

この取付説明書の中で使用されている記号は、次のようになっています。
⚠警 告 、⚠注 意 、注 記 、アドバイス のところは、とくにしっかりお読みください。

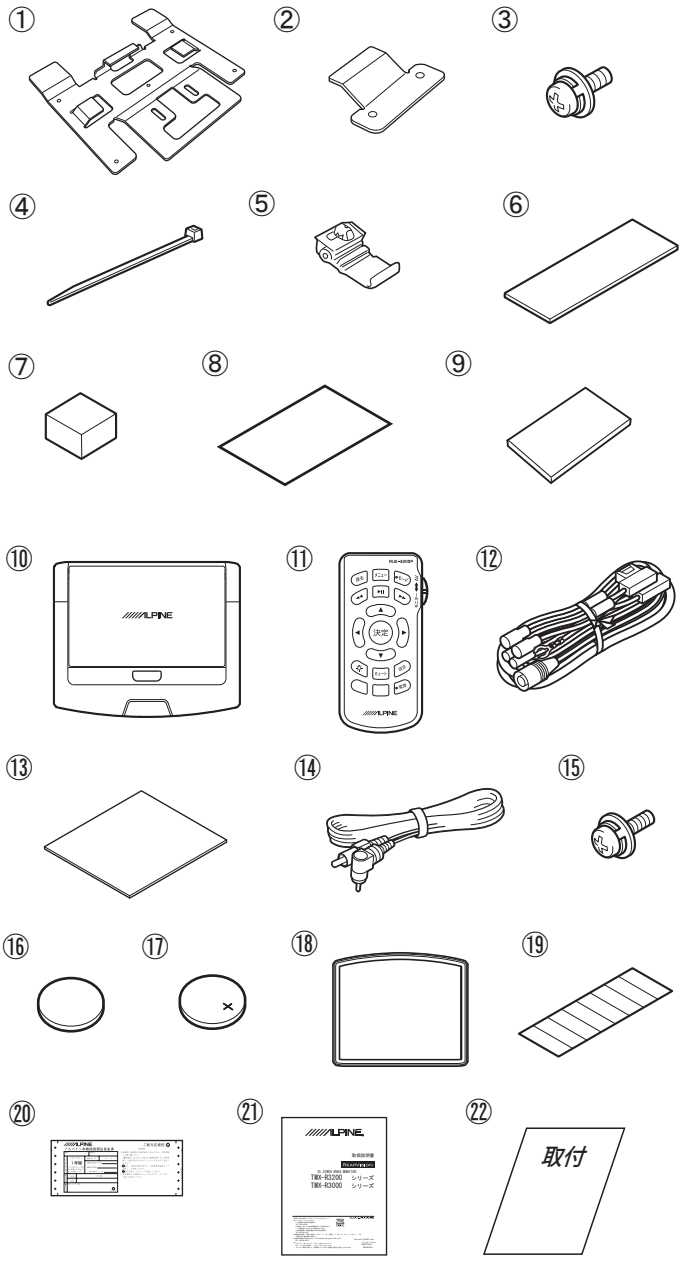
⚠警 告	取付け、取扱方法を誤った、または守らなかった場合、死亡または重大な傷害につながるおそれがある内容です。
⚠注 意	取付け、取扱方法を誤った、または守らなかった場合、傷害につながるおそれがある内容です。
注 記	取付け、取扱方法を誤った、または守らなかった場合、物的損害につながるおそれがある内容です。
アドバイス	この用品のために守っていただきたいこと、または知っておくと便利な内容です。

品番および適用車種

品 番	適 用 車 種	適 用 年 式
エブリイ	DA17W、DA17V	2015年２月～

構成部品

※図中番号に斜線が引かれている部品は
本商品の取付キットには同梱しておりません。



図中番号	品名	数量
①	固定用ブラケットA	1
②	固定用ブラケットB	1
③	スクリュー（M5×10）	2
④	タイラップ	10
⑤	エレクトロタップ	2
⑥	クッションテープ（75mm×250mm）	4
⑦	クッション（10mm×50mm×50mm）	1
⑧	型紙	1
⑨	アルミテープ（130mm × 230mm）	1
⑩	モニター本体	1
⑪	リモコン	1
⑫	モニターケーブル	1
⑬	クッション（モニターケーブルジョイント部用 80mm×80mm）	1
⑭	PIN接続コード	1
⑮	スクリュー（M4×16）	5
⑯	ゴムキャップ	6
⑰	電池（リモコン用）	1
⑱	シリコンスペーサー	1
⑲	両面テープ	1
⑳	保証書	1
㉑	取扱説明書	1
㉒	取付説明書（本書）	1

取付けに必要な工具類

⊕ドライバー、⊖ドライバー、プライヤー、ニッパー、クリップリムーバー、ラチェットレンチ（10 mm、14mm）、トルクドライバー、ビニールテープ、マスキングテープ、脱脂剤、カッターナイフ、ハサミ、保護メガネ、保護手袋（軍手など）、押しピン、定規、針金

取付上の留意事項

⚠警 告

分解・改造をしないでください。
事故･火災･感電の原因になります。

本製品に装着された液晶TV にぶら下がったりしないでください。事故・破損の原因になります。

本製品には指定の液晶TV 以外のものを装着したり、本来の目的以外のご使用はおやめください。
事故・破損の原因になります。

電池・ネジなどの小物類は、幼児の手の届かないところに保管してください。飲み込んだ場合には、ただちに医師と相談してください。

ヒューズ交換は、規定容量（アンペア数）を守ってください。事故･火災の原因になります。

DC12Vマイナスアース車以外に接続しないでください。事故・火災の原因になります。

運転中は操作をしたり、画面を見たりしないでください。事故・ケガの原因になります。
画面を見る場合や、操作を行う場合は、安全な場所に停車してください。

コード類は運転操作の妨げとならないように束ねてください。
ハンドル・変速レバー・ブレーキペダルなどに巻き付くと、事故・故障の原因になります。

コードの被覆を切って、他の機器の電源を取らないでください。火災・感電の原因になります。

前方の視界を妨げる場所、ハンドル・変速レバーなど運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には、取り付けないでください。事故・ケガの原因になります。

取付け・アース接続には、ハンドル・ブレーキ・タンクなどのボルトを使わないでください。制動不能・火災の原因になります。

油類、アルコール、ベンジン、シンナーで拭いたり、ヘアスプレー、殺虫剤をかけないでください。付着した場合はすみやかに拭き取ってください。ひび割れ、感電、引火のおそれがあります。

⚠注 意

取付け・配線には、専門技術と経験が必要です。

説明書に従って、正しく接続してください。火災・故障の原因になります。

通風孔・放熱板をふさがないでください。火災・故障の原因になります。

付属部品を指定通りに使い、しっかりと取り付けてください。事故・故障の原因になります。

説明書に従って、正しく接続してください。火災・事故の原因になります。

水のかかるところ、湿気やホコリの多いところには取り付けないでください。火災・故障の原因になります。

コードをシートレールにはさんだり、突起部に当てたりしないでください。断線やショートにより、感電・火災の原因になります。

指定外の電池を使用する、極性を間違えるなど、しないでください。電池の破裂・液漏れや火災・ケガの原因になります。

可動ディスプレイのすきまには、指や異物を入れないでください。ケガ・故障の原因になります。

注 記

モニターの脱落を防ぐため、基台本体がしっかり固定されていることを確認してご使用ください。

過度の衝撃が加わった場合、ルーフ内装部に損傷を与える場合があります。

取付けの際は車両を傷つけないように十分注意してください。

車からの振動を抑えるため、しっかりと固定してください。

この商品はルーフ内装部に直接装着し、ぶれ防止に内装に密着させて固定する仕様になっています。取り外した後、内装に装着跡が残ることがあります。

説明書に従って、加工を行ってください。説明書の指示を守らなかったことによる車両部品の破損・ケガ等に対して、当社は責任を負いかねます。

電動ドライバーの使用を禁止します。電動ドライバーは力の加減が難しく、ねじ穴を破損させるだけでなく、車を破損させる恐れがあります。

キズ防止のため、要所をマスキングテープなどで保護してください。

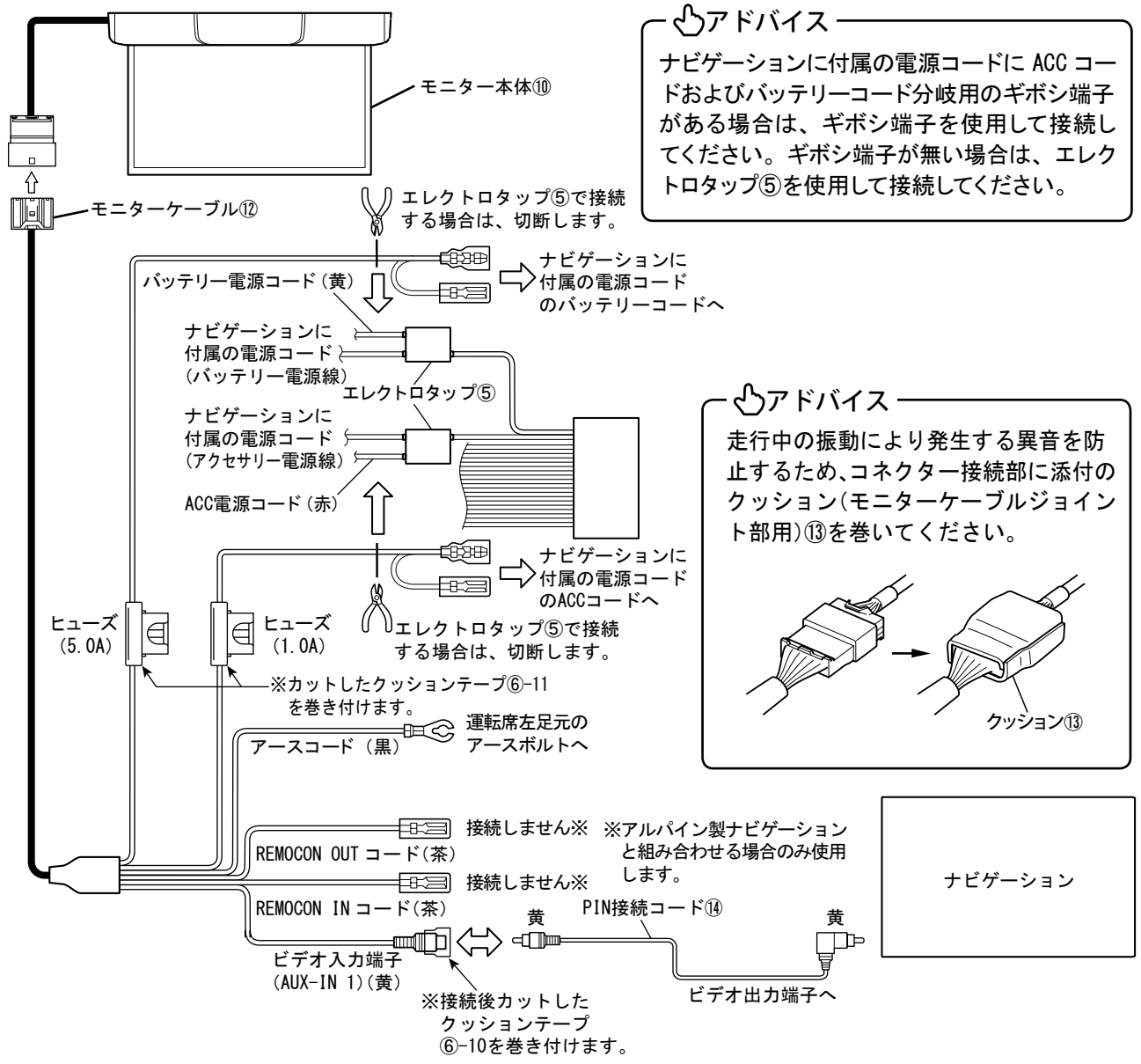
ルーフライニングを汚さないように注意してください。

ルーフライニングを強く押したり、引いたりしないでください。ルーフライニングが折れ曲がり、しわの原因になります。

取付準備作業

1. 取付作業は、安全な場所に車を駐車させ、パーキングブレーキを確実に操作してください。
2. 取付作業の前に、必ず、イグニッションキーをOFFにして、バッテリーの⊖側コードをはずしてください。また、⊖側コードは、⊕側コードと接触しないようにしてください。
3. 構成部品および部品点数が取付説明書どおりになっているか、また不良部品の混在等がないかを確認してください。

接続のしかた



アドバイス

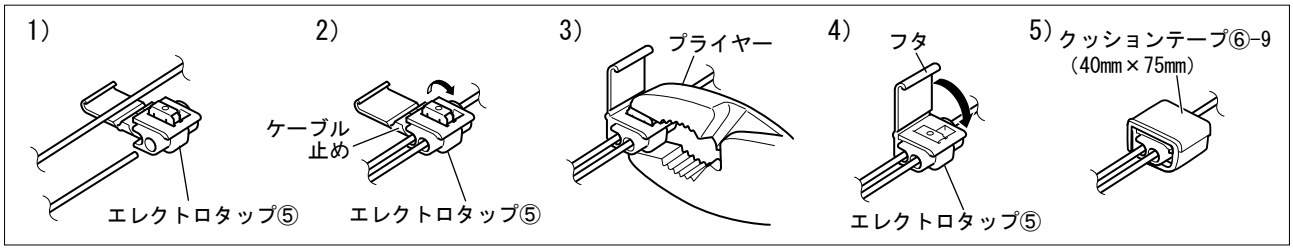
ナビゲーションに付属の電源コードに ACC コードおよびバッテリーコード分岐用のギボシ端子がある場合は、ギボシ端子を使用して接続してください。ギボシ端子が無い場合は、エレクトロタップ⑤を使用して接続してください。

アドバイス

走行中の振動により発生する異音を防止するため、コネクター接続部に添付のクッション（モニターケーブルジョイント部用）⑬を巻いてください。

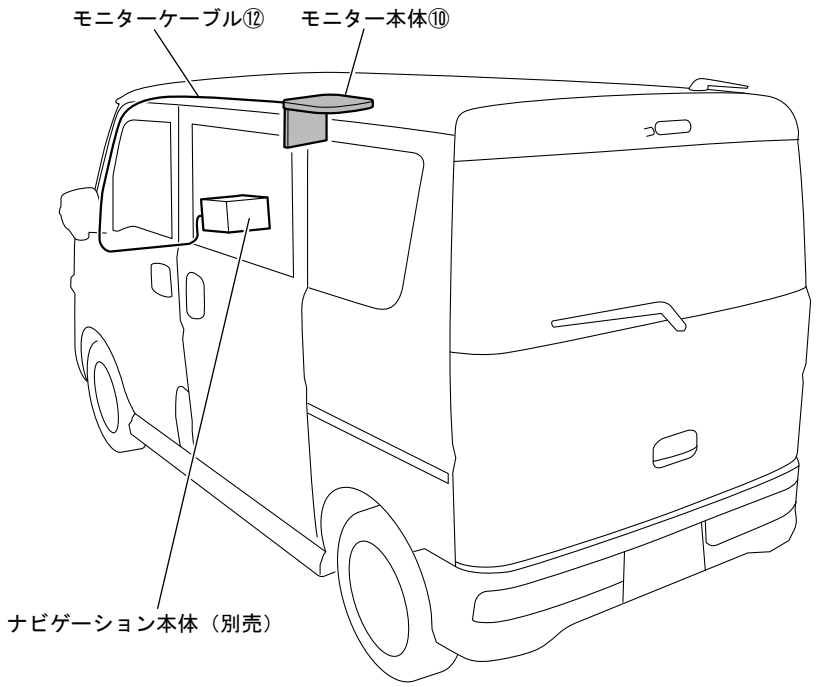
注 記

エレクトロタップの接続方法



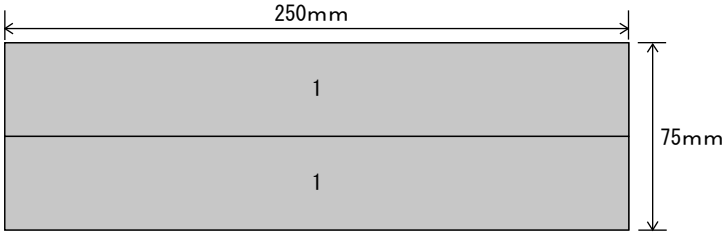
1) 接続するハーネスとモニターケーブル⑫の赤色線と黄色線を確実にエレクトロタップ⑤へ挿入してください。
2) ケーブル止めをはめ込んでください。
3) プライヤー等で導通金具を樹脂面と平らになるまで確実に押し込んでください。
4) フタをかぶせ、確実にロックしてください。
5) カットしたクッションテープ⑥-9をエレクトロタップ⑤の全体を覆うように巻いてください。

取付概要



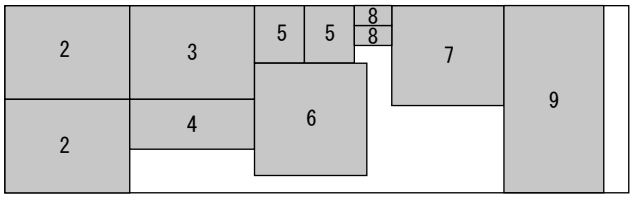
取付準備作業

(1) クッションテープ⑥、クッション⑦およびアルミテープ⑨を図に示す寸法にカットします。

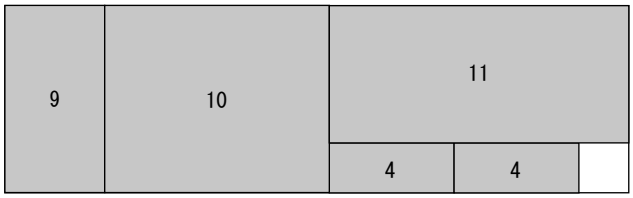


クッションテープ⑥-1：250㎜×37.5㎜ 4枚

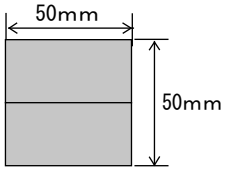
クッションテープ⑥-2：50㎜×37.5㎜ 2枚



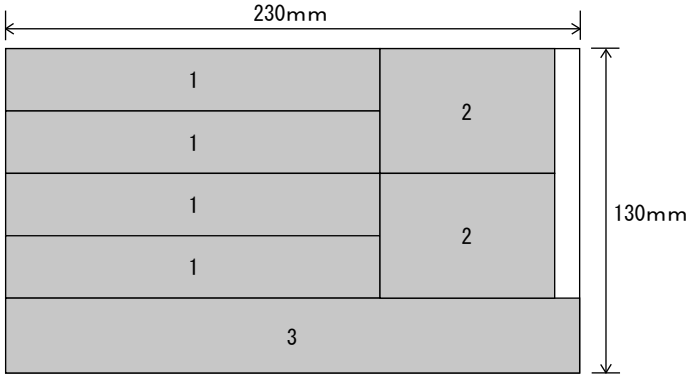
クッションテープ⑥-3：50㎜×37.5㎜ 1枚
クッションテープ⑥-4：50㎜×20㎜ 3枚
クッションテープ⑥-5：20㎜×23㎜ 2枚
クッションテープ⑥-6：45㎜×45㎜ 1枚
クッションテープ⑥-7：45㎜×40㎜ 1枚
クッションテープ⑥-8：15㎜×8㎜ 2枚



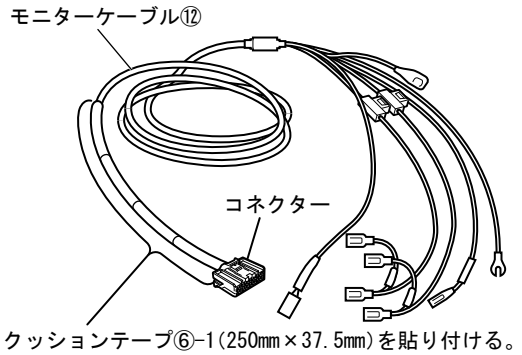
クッションテープ⑥-9：40㎜×75㎜ 2枚
クッションテープ⑥-10：90㎜×75㎜ 1枚
クッションテープ⑥-11：120㎜×55㎜ 1枚



クッション⑦ ：50㎜×25㎜ 2枚



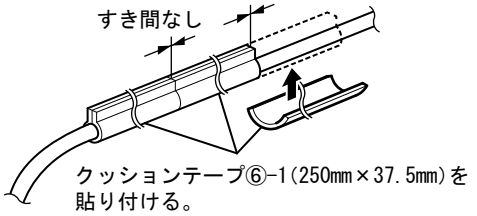
アルミテープ⑨-1：150㎜×25㎜ 4枚
アルミテープ⑨-2：70㎜×50㎜ 2枚
アルミテープ⑨-3：230㎜×30㎜ 1枚



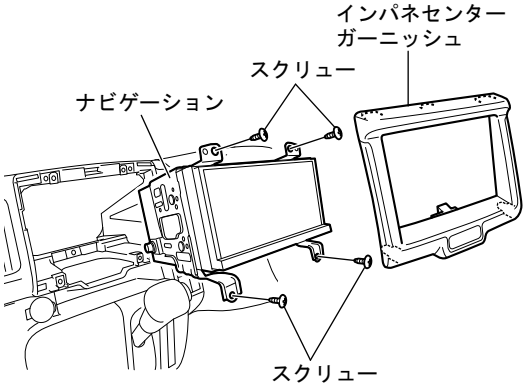
(2) カットしたクッションテープ⑥をモニターケーブル⑫のコネクターの根元から4枚貼り付けます。

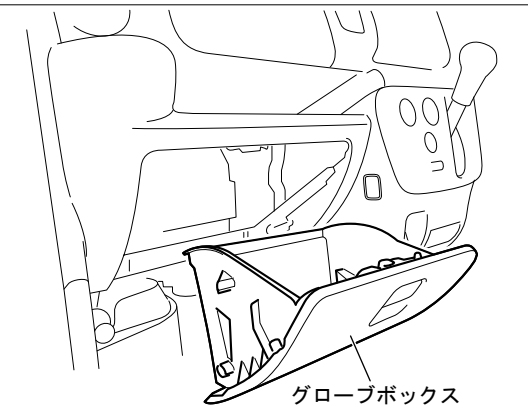
注 記

・ モニターケーブル⑫の保護や異音防止のため、必ずクッションテープ⑥を貼り付けてください。
・クッションテープ⑥は、指定の枚数をすき間ができないように貼り付けてください。



取付要領





取付作業

1. 車両部品の取外し

注 記

取り外したボルト、スクリューおよびクリップ等は再使用します。紛失しないでください。

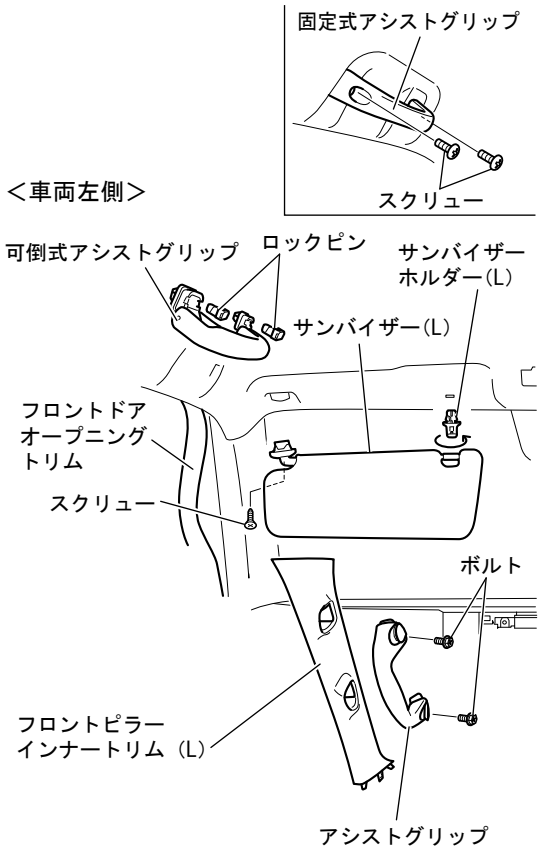
(1) インパネセンターガーニッシュを取り外します。
(2) ハザードスイッチのコネクターを外します。
(3) スクリュー（4本）を取り外します。
(4) ナビゲーションを取り外します。

注 記

取外しは、シフトレバーを一番下げた状態で行ってください。シフトレバーに傷が付くおそれがあります。

(5) ナビゲーション関係およびラジオのコネクターを外します。

(6) グローブボックスを取り外します。

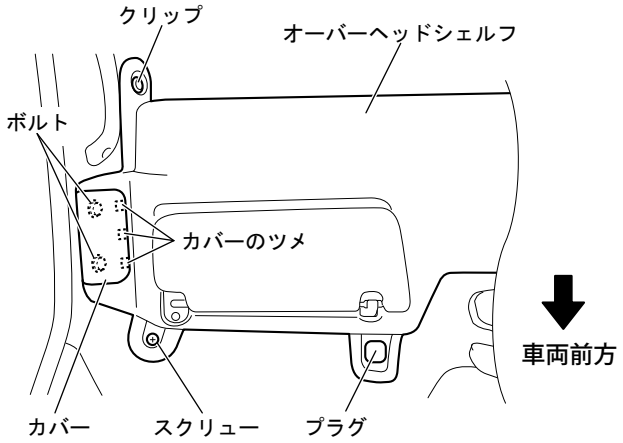


※図は車両左側を示しており、車両右側は対称です。同様に作業してください。

(7) スクリュー（各1本）を外し、サンバイザー（L/R）を取り外します。

注 記

オーバーヘッドシェルフ装着車は、オーバーヘッドシェルフを取り外してください。



※図は車両左側を示しており、車両右側は対称です。同様に作業してください。

(8) サンバイザーホルダー（L/R）を回転させ、取り外します。

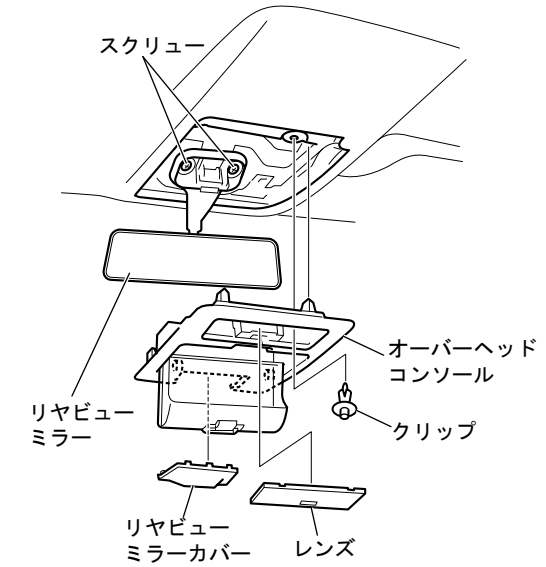
(9) アシストグリップを取り外します。

アドバイス

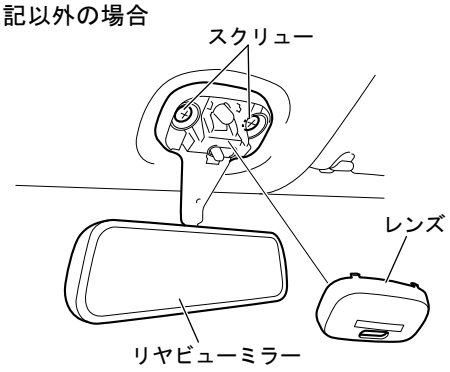
アシストグリップはグレード等により2タイプがあります。可倒式はロックピンを抜き、固定式はスクリューを外して取り外してください。

(10) フロントドアオープニングトリムをめくり、フロントピラーインナートリム（L/R）を取り外します。

オーバーヘッドコンソールと一体の場合



上記以外の場合



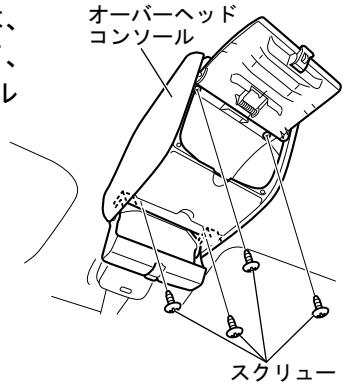
(11) リヤビューミラーカバーおよびレンズを取り外します。

(12) クリップ（1個）を外し、オーバーヘッドコンソールを取り外します。

注 記

・車両のタイプにより取り外し部品が異なります。

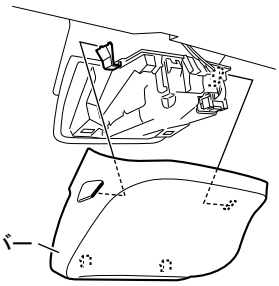
・車両のタイプによっては、スクリュー(4本)を外して、オーバーヘッドコンソールを取り外してください。

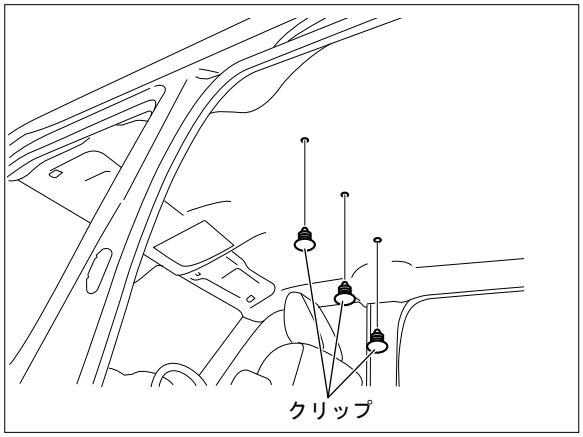


(13) スクリュー(2本)を外し、リヤビューミラーを取り外します。

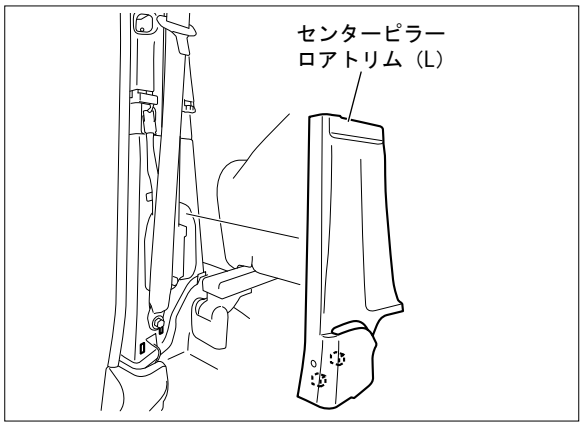
注 記

RBS装着車は、LIDARカバーを取り外してください。（ツメを折ったり等しないよう慎重に作業してください）

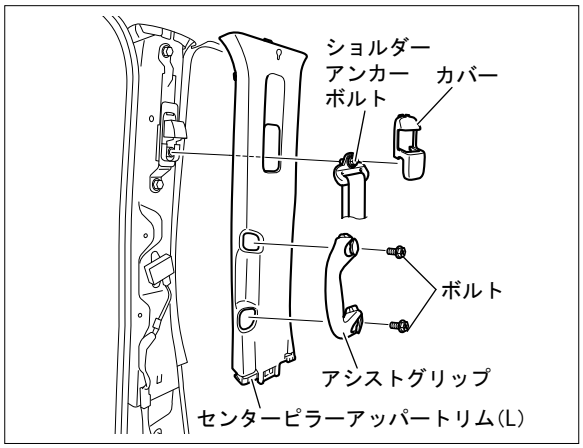




(14) クリップ（3個）を取り外します。



(15) センターピラーロアトリム（L）を取り外します。



(16) アシストグリップ装着車は、ボルト（2本）を外し、アシストグリップを取り外してください。

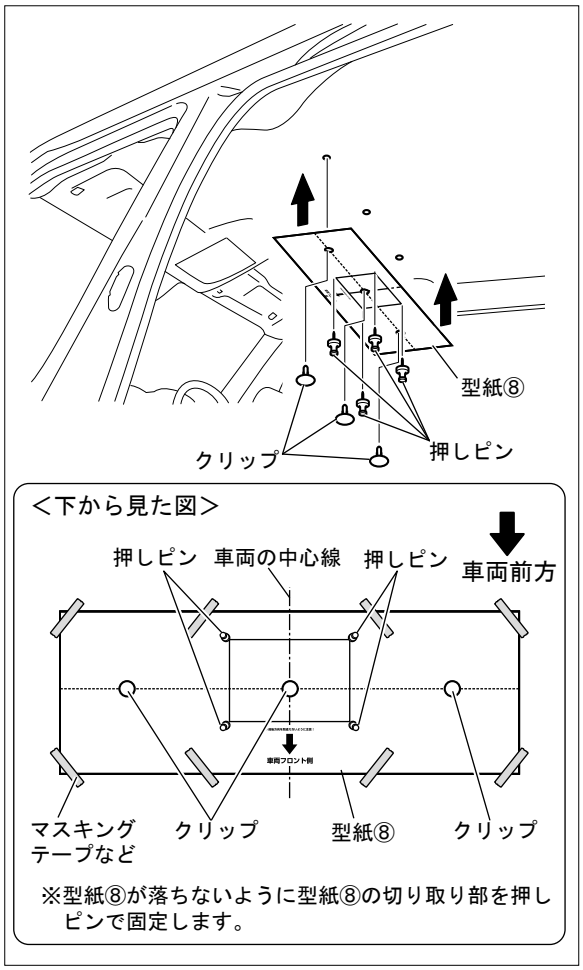
(17) カバーおよびショルダーアンカーボルトを外し、センターピラーアッパートリム（L）を取り外します。

2. ルーフライニングの切取り加工

注　記

・ルーフライニングを汚さないように注意してください。

・ルーフライニングを強く押したり、引いたりしないでください。ルーフライニングが折れ曲がり、しわの原因になります。



(1) 型紙⑧を「**1.車両部品の取外し**」の手順（14）で取り外したクリップ（3個）、マスキングテープ（8箇所）および押しピン（4箇所）でルーフライニングに固定します。

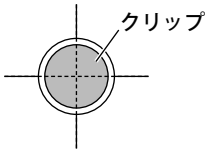
注　記

・型紙⑧の向きを間違えないでください。

・マスキングテープは、粘着力に注意してください。粘着力の強いマスキングテープを使用するとルーフライニングが毛羽立つ原因となります。

・押しピンは、切取中に型紙⑧が落ちたり、ずれたりしないよう、切取り加工部の4隅付近に刺してください。

・クリップは、型紙⑧のマークの中心にくるように取り付てください。

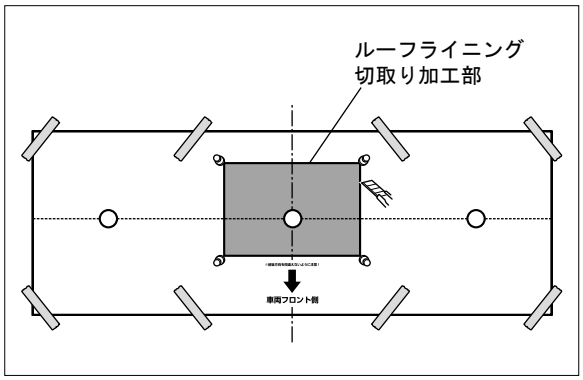


・型紙⑧は、クリップが型紙⑧の穴の中心にくるように型紙⑧の位置を調整してください。

(2) 型紙⑧と車両の中心線とが合っていることを確認します。

注　記

型紙⑧と車両の中心線が合っていない場合は、型紙⑧の位置を調整してください。中心線が合っていないと、その後の作業や、作業の出来栄えに影響します。



(3) 型紙⑧のルーフライニング切取り加工部と裏側のルーフライニングをカッターナイフで切り取ります。

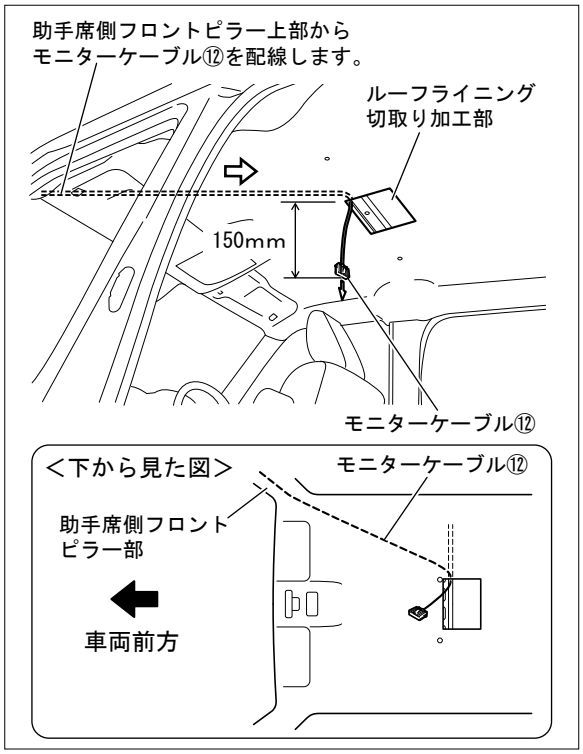
⚠注 意

ルーフライニングを切り取る際は、保護具を着用し目や指を保護してください。

注 記

- カッターナイフの刃先は、10mm以上出さないでください。車両ハーネスを切断する恐れがあります。
- ルーフライニングは一度に切り込まず、少しずつ切ってください。
- ルーフライニング裏の遮音材は切り取らないでください。

(4) 型紙⑧をはがします



3. モニターケーブルの配線(ルーフライニング裏側)

注 記

- ルーフライニングを汚さないように注意してください。
- ルーフライニングを強く押したり、引いたりしないでください。ルーフライニングが折れ曲がり、しわの原因になります。

(1) 針金をモニターケーブル⑫の先端(コネクター側)に取り付けます。

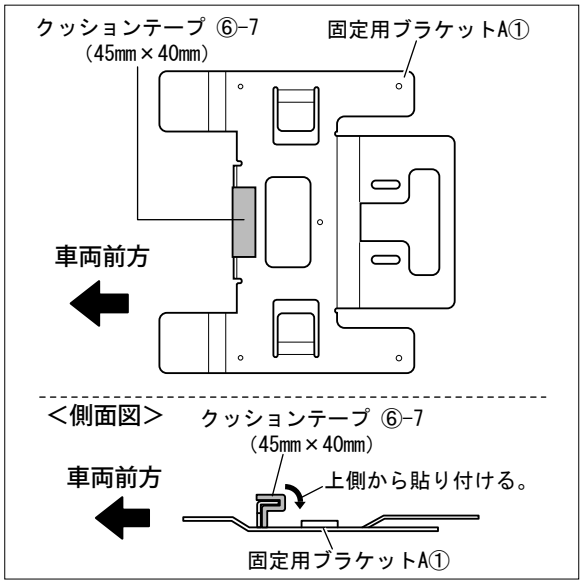
(2) モニターケーブル⑫を助手席側フロントピラー上部からルーフライニングの切取り加工部へと引き回します。

(3) 針金をモニターケーブル⑫から外します。

(4) モニターケーブル⑫の先端をルーフライニングの切取り加工部から約150mm出した状態にします。

注 記

- ルーフライニングを折り曲げないでください。
- モニターケーブル⑫の向きを間違えないようにしてください。
- 針金を使用して配線する際は、車両ハーネス等を傷付けないようにしてください。
- モニターケーブル⑫の引出寸法を守ってください。

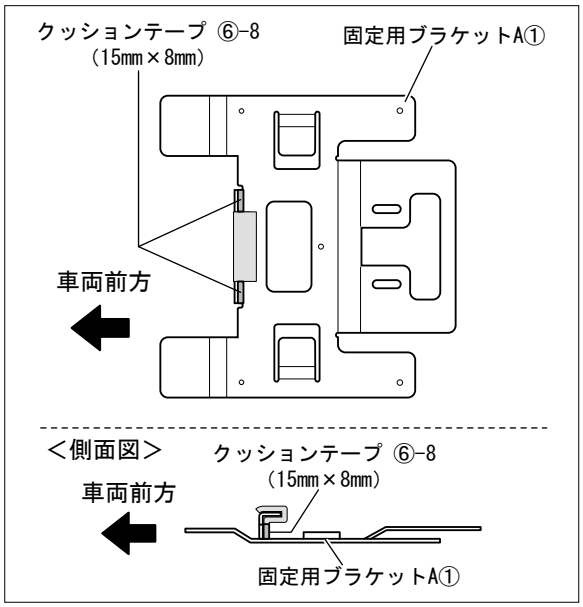


4. 固定用ブラケットの取付け

(1) カットしたクッションテープ⑥-7(1枚)を固定用ブラケットA①の図に示す位置に貼り付けます。

注 記

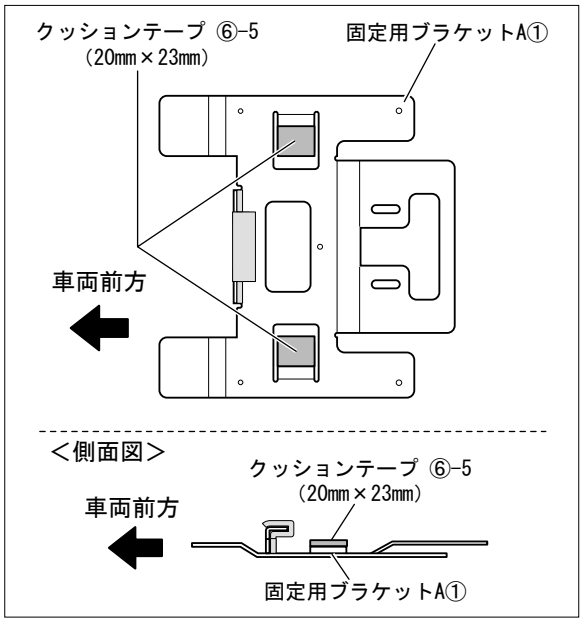
クッションテープ⑥貼付部は必ず脱脂・清掃してください。



(2) カットしたクッションテープ⑥-8（2枚）を固定用ブラケットA①の図に示す位置に貼り付けます。

注 記

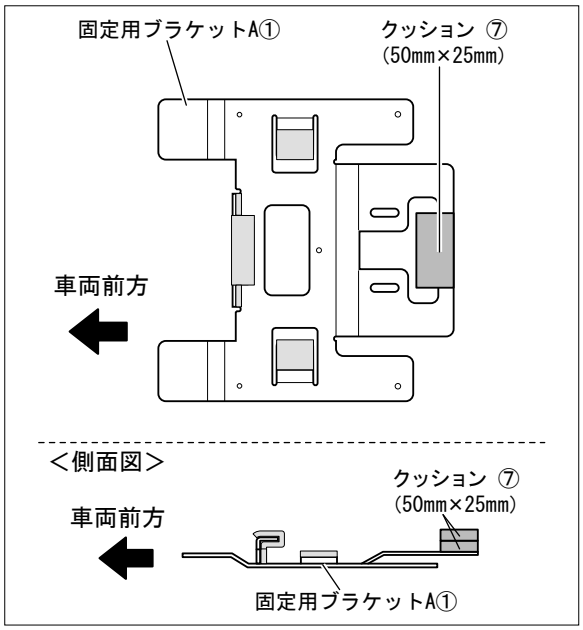
クッションテープ⑥貼付部は必ず脱脂･清掃してください。



(3) カットしたクッションテープ⑥-5（2枚）を固定用ブラケットA①の図に示す位置に貼り付けます。

注 記

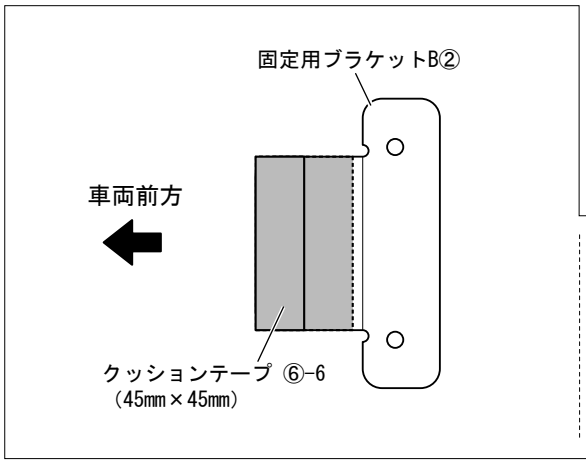
クッションテープ⑥貼付部は必ず脱脂･清掃してください。



(4) カットしたクッション⑦（2枚）をブラケットA①の図に示す位置に貼り付けます。

注 記

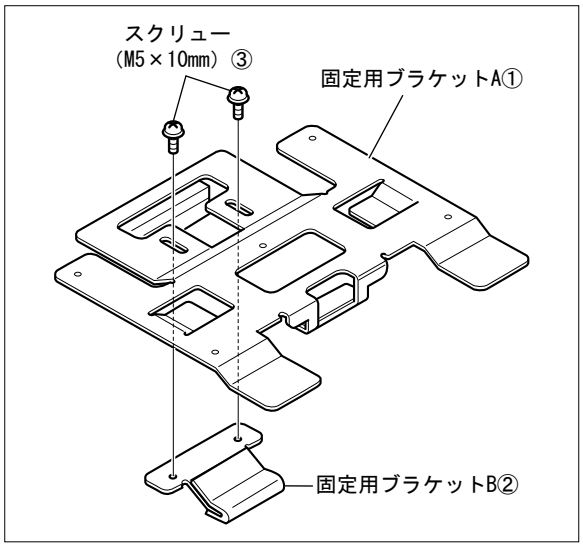
クッション⑦貼付部は必ず脱脂・清掃してください。



(5) カットしたクッションテープ⑥-6（1枚）を固定用ブラケットB②の図に示す位置に貼り付けます。

注 記

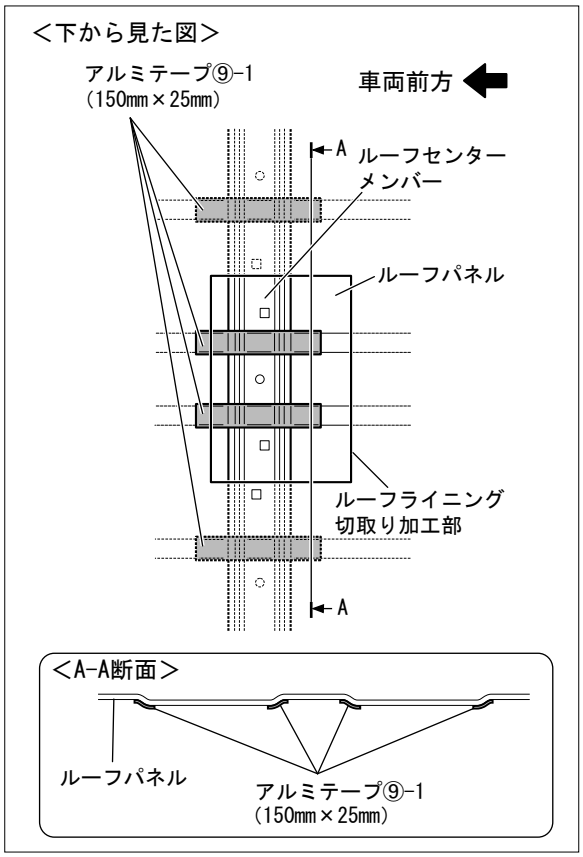
クッションテープ⑥貼付部は必ず脱脂･清掃してください。



(6) 固定用ブラケットB②を固定用ブラケットA①に組み付け、スクリュー（M5×10）③（2本）で仮固定します。

注 記

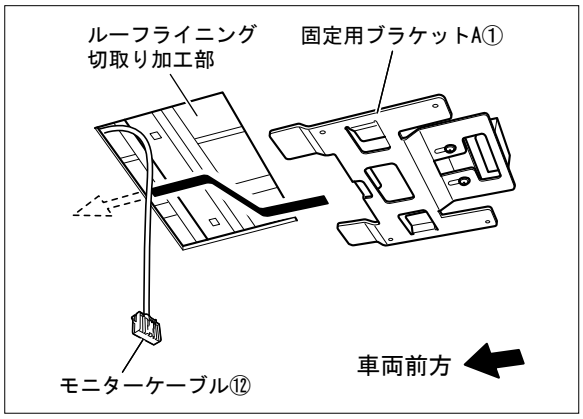
固定用ブラケットA①および固定用ブラケットB②の向きを間違えないでください。



(7) カットしたアルミテープ⑨-1（4枚）をルーフライニング切取り加工部からルーフメンバーおよびルーフパネルの図に示す位置に貼り付けます。

注 記

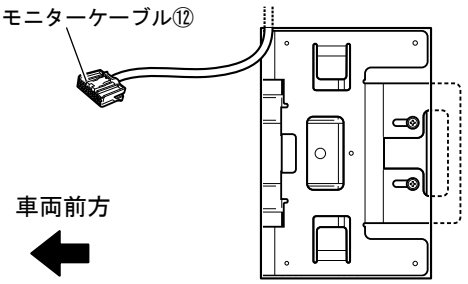
- ルーフライニングを汚さないように注意してください。
- ルーフライニングを強く押したり、引いたりしないでください。ルーフライニングが折れ曲がり、しわの原因になります。
- アルミテープ⑨貼付部は必ず脱脂・清掃してください。
- アルミテープ⑨は、突っ張らないように少し余裕をもたせて貼り付けてください。突っ張って貼り付けるとルーフパネルがゆがむ恐れがあります。

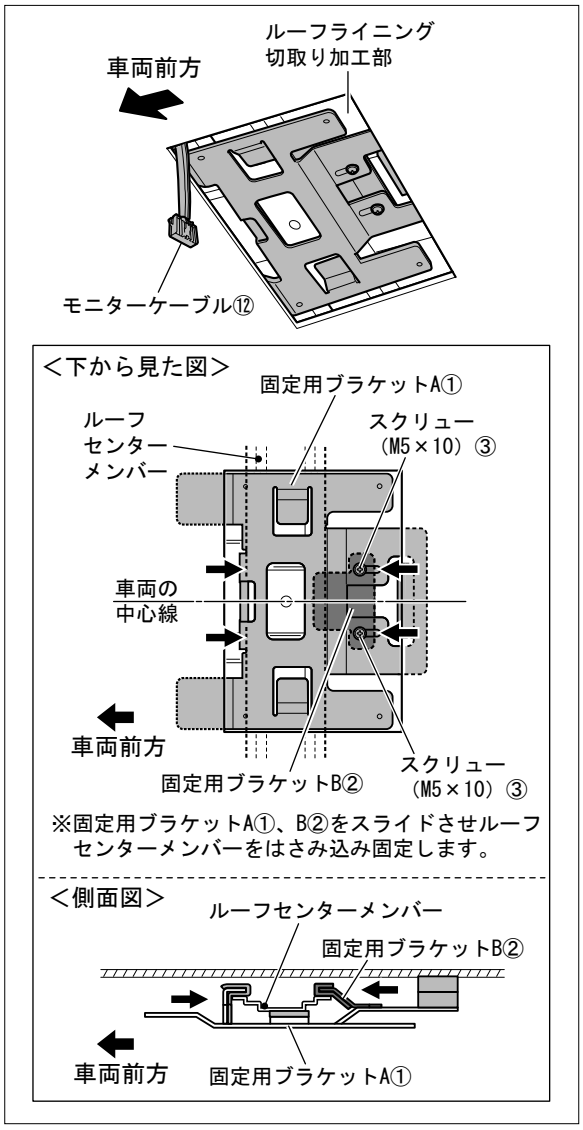


(8) 固定用ブラケットA①をルーフライニング切取り加工部からルーフライニングの裏側へ挿入します。

注 記

・固定用ブラケットA①の向きを間違えないでください。
・モニターケーブル⑫を挟み込まないようにしてください。





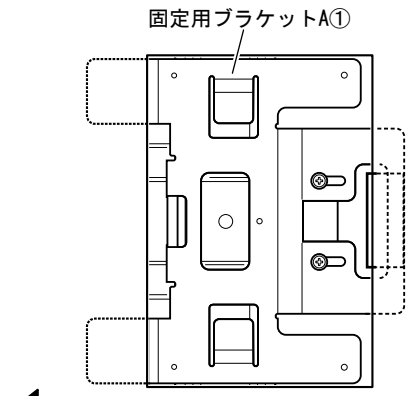
(9) 固定用ブラケットB②を車両前側へスライドさせルーフセンターメンバーをはさみ込み、スクリュー（M5×10）③（2本）を本締めします。

締付トルク：3 N·m～ 3.3 N·m

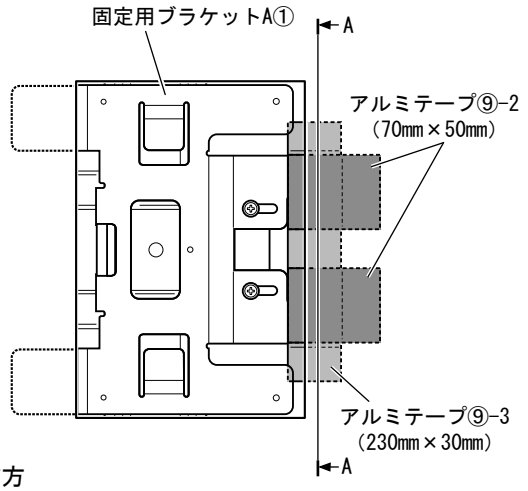
注 記

・固定用ブラケットA①および固定用ブラケットB②が車両の中央にくるよう位置を調整してからボルトを本締めしてください。
・モニターケーブル⑫を挟み込まないようにしてください。
・固定用ブラケットA①および固定用ブラケットB②にがたつきが無いことを確認してください。

<下から見た図>
貼付前



貼付後

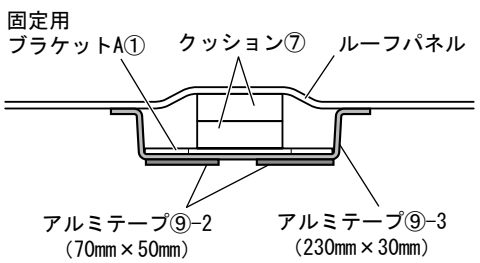


(10) カットしたアルミテープ⑨-3 (1枚) および⑨-2 (2枚) を固定用ブラケットA①後側の図に示す位置に、固定用ブラケットA①を押し上げないように少し余裕をもたせて貼り付けます。

注 記

・ルーフライニングを汚さないように注意してください。
・ルーフライニングを強く押したり、引いたりしないでください。ルーフライニングが折れ曲がり、しわの原因になります。
・アルミテープ⑨貼付部は必ず脱脂・清掃してください。
・アルミテープ⑨は、突っ張らないように少し余裕をもたせて貼り付けてください。突っ張って貼り付けるとルーフパネルがゆがむ恐れがあります。

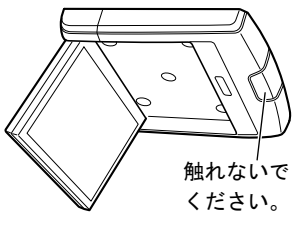
<A-A断面>

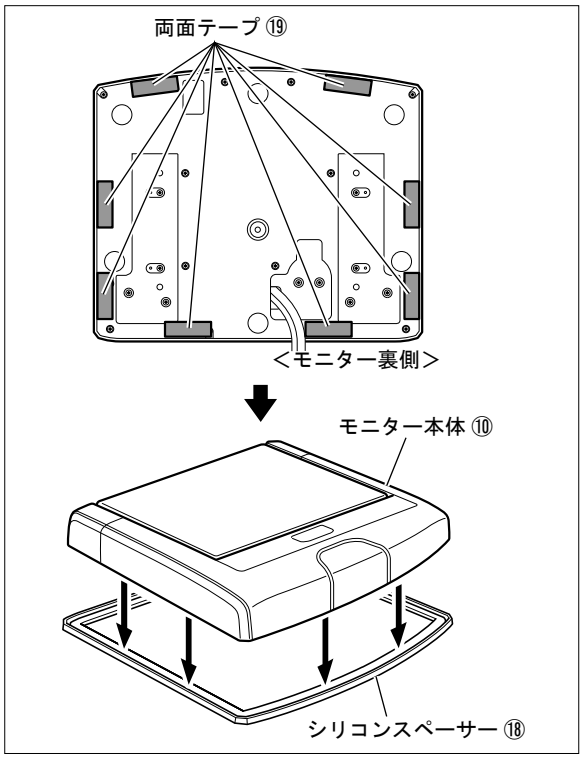


5. モニターの取付け

注 記

・ルーフライニングを汚さないように注意してください。
・ルーフライニングを強く押したり、引いたりしないでください。ルーフライニングが折れ曲がり、しわの原因になります。
・モニター本体⑩の落下や傷付きを防ぐため、二人で作業してください。
・モニター本体⑩の下図に示す部位に触れないでください。汚れや傷の原因となります。



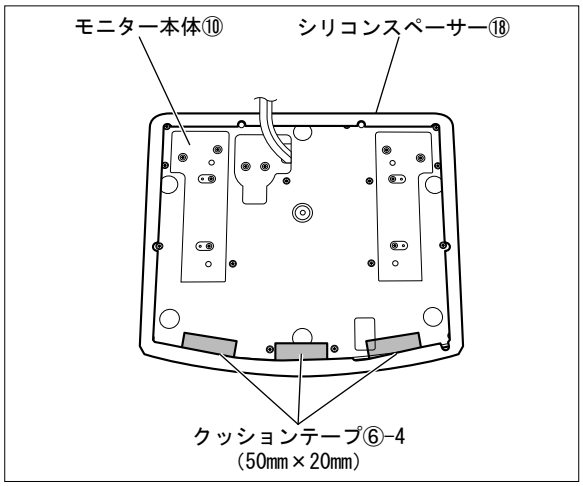


(1) 両面テープ⑲(8箇所)を図に示す位置に貼り付けます。

(2) シリコンスペーサー⑱をモニター本体⑩に取り付けます。

注 記

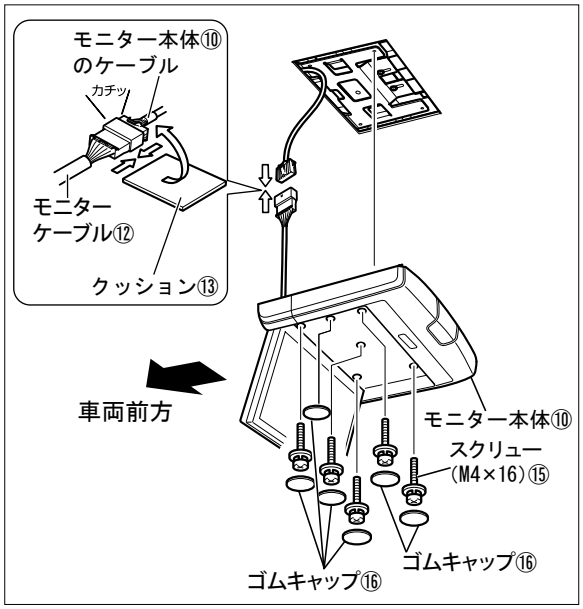
シリコンスペーサー⑱を取り付けるときには、モニター本体⑩に傷がつかないよう柔らかい布などを敷いて作業してください。



(3) カットしたクッションテープ⑥-4を図に示す位置に貼り付けます。

注 記

クッションテープ⑥貼付部は必ず脱脂･清掃してください。



(4) モニター本体⑩のケーブルをモニターケーブル⑫に接続します。

注 記

カチッと音がするまで確実にはめ込んでください。

(5) モニターケーブル⑫の接続部にクッション⑬を巻き、ルーフライニングの裏側に収めます。

注 記

- 必ず接続部にクッション⑬を巻いてください。異音の原因となります。
- ルーフライニングにふくらみが無いことを確認してください。ふくらんでいる場合は、モニターケーブル⑫の位置を調整してください。
- ケーブル類をはさみ込まないようにしてください。

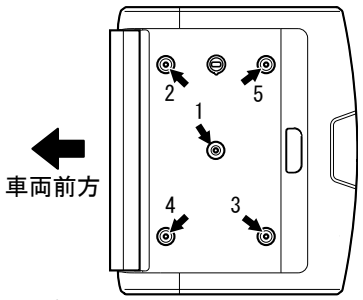
(6) モニター本体⑩を固定用ブラケットA①に組み付け、スクリュー（M4×16）⑮（5本）で固定します。

締付トルク：1.5 N·m

注 記

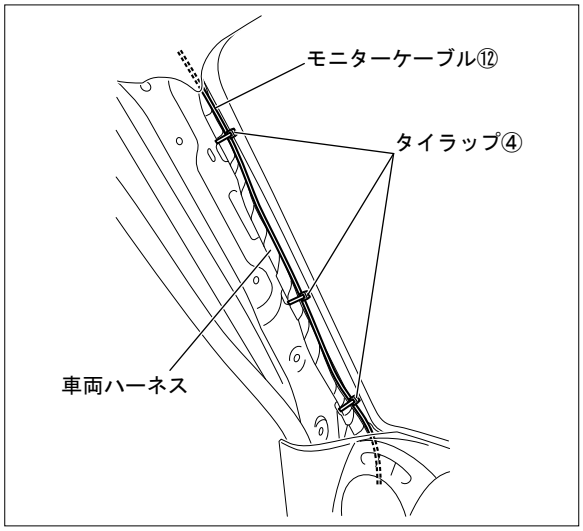
・モニター本体⑩を取り付ける際は、ケーブル類をはさみ込まないようにしてください。

・スクリュー(M4×16)⑮は､図に示す順番で締め付けてください。



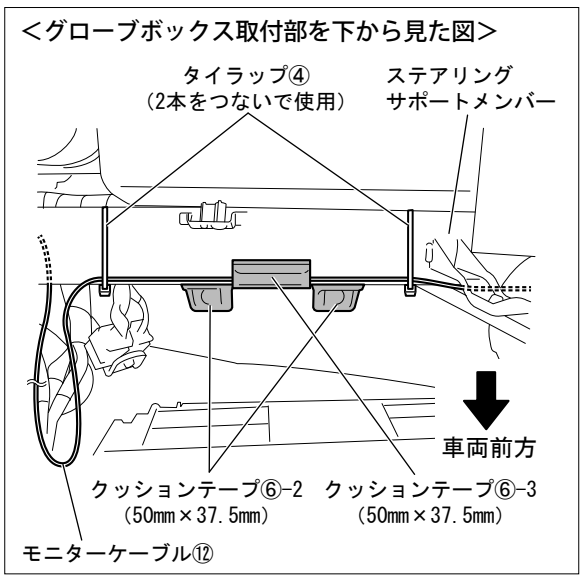
・電動ドライバーは絶対に使用しないでください。破損の原因となります。

(7) ゴムキャップ⑯（6個）を取り付けます。



6. モニターケーブルの配線（フロントピラー～インストルメントパネル）

(1) モニターケーブル⑫をフロントピラー部の車両ハーネスに沿って引き回し、タイラップ④（3箇所）で固定します。



(2) カットしたクッション⑥-2（2枚）をステアリングサポートメンバーの図に示す位置に貼り付けます。

注 記

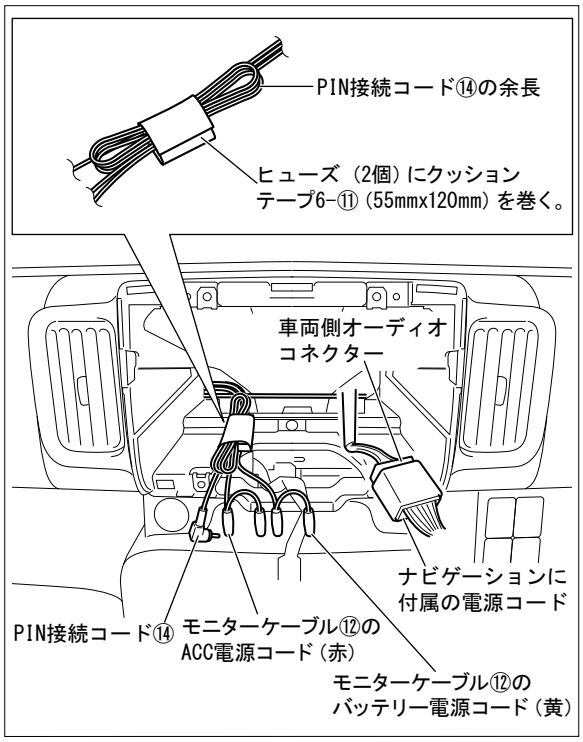
クッションテープ⑥貼付部は必ず脱脂･清掃してください。

(3) モニターケーブル⑫をインストルメントパネル内に引き込み、車両ハーネスにタイラップ④（2箇所）で固定します。

(4) カットしたクッション⑥-3（1枚）でモニターケーブル⑫をステアリングサポートメンバーに固定します。

注 記

クッションテープ⑥貼付部は必ず脱脂･清掃してください。



(5) モニターケーブル⑫のACC電源コード（赤）をナビゲーションに付属の電源コードのACCコードに接続します。

(6) モニターケーブル⑫のバッテリー電源コード（黄）をナビゲーション付属の電源コードのバッテリーコードに接続します。

注 記

接続先の詳細は、ナビゲーションの取付説明書をご覧ください。

アドバイス

- ナビゲーションに付属の電源コードにACCコードおよびバッテリーコード分岐用のギボシ端子がある場合は、ギボシ端子を使用して接続してください。ギボシ端子が無い場合は、エレクトロタップ⑤を使用して接続してください。
- ACC電源コード（赤）やバッテリー電源コード（黄）をギボシ端子で接続した場合は、使用していないギボシ端子を絶縁し、ACC電源コード（赤）やバッテリー電源コード（黄）に固定してください。
- ACC電源コード（赤）やバッテリー電源コード（黄）をエレクトロタップ⑤で接続した場合は、エレクトロタップ⑤にクッションテープ⑥-9を巻き付けてください。

(7) モニターケーブル⑫のREMOCON INコード(茶)およびREMOCON OUTコード(茶)を絶縁します。

アドバイス

- モニターケーブル⑫のREMOCON OUTコード（茶）は、後述の手順（9）で余長と一緒に束ねます。
- アルパイン製ナビゲーションと組み合わせる場合は、オーディオ取付部まで配線し、ナビゲーションに付属のコードと接続してください。

(8) 接続のしかた を参照してモニターケーブル⑫のAUX-IN 1コード（黄）をPIN接続コード⑭に接続し、カットしたクッションテープ⑥-10を巻き付けます。

注 記

モニターケーブル⑫の保護や異音防止のため、必ずクッションテープ⑥を貼り付けてください。

(9) PIN接続コード⑭の余長を束ねます。

アドバイス

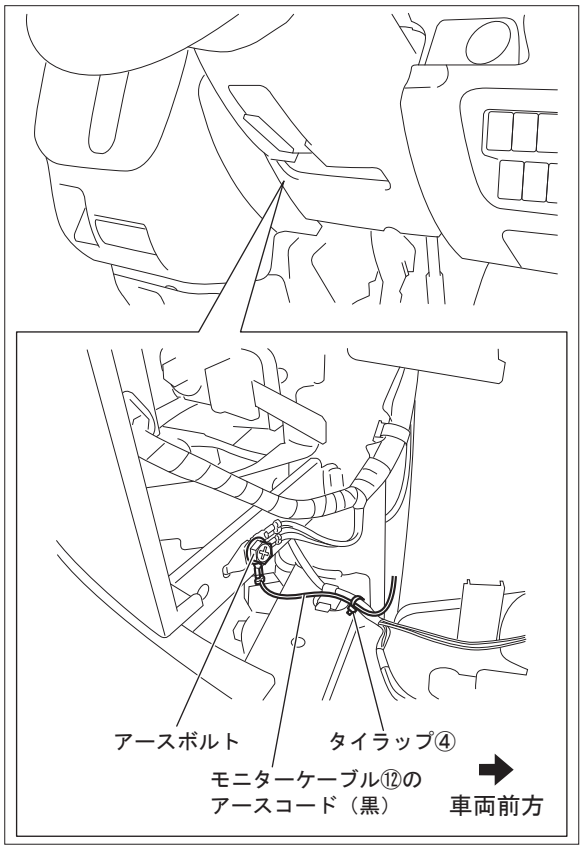
アルパイン製以外のナビゲーションと組み合わせる場合は、モニターケーブル⑫のREMOCON INコード（茶）およびREMOCON OUTコード（茶）も一緒に束ねてください。

(10) カットしたクッションテープ⑥-11をモニターケーブル⑫のヒューズに貼り付けます。

アドバイス

以下のコードを一緒に固定してください。

- PIN接続コード⑭の余長
- アルパイン製以外のナビゲーションと組み合わせる場合は、モニターケーブル⑫のREMOCON INコード（茶）およびREMOCON OUTコード（茶）

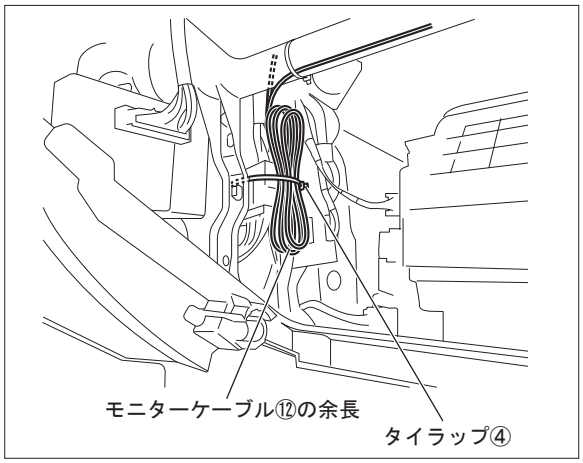


(11) モニターケーブル⑫のアースコード（黒）を運転席左足元の車両アースボルトに共締めします。

注 記

アースボルトは確実に締め付けてください。

(12) モニターケーブル⑫のアースコード（黒）を車両ハーネスにタイラップ④（1箇所）で固定します。



(13) モニターケーブル⑫の余長を束ね、車両ハーネスにタイラップ④（1箇所）で固定します。

(14) PIN接続コード⑭を 接続のしかた と接続するナビゲーションの取付説明書を参照して、ナビゲーションのビデオ出力端子に接続します。

車両部品の復元

取り外した車両部品を、取り外しと逆の手順で取り付けてください。

⚠注 意

ショルダーアンカーボルトおよびアースボルト等は規定のトルクで締め付けてください。

取付完了後の点検

(1) モニターが確実に固定されているか確認してください。

(2) 接続するナビゲーションの取扱説明書をご覧になり、モニターの出力設定をしてください。

(3) テレビ放送やDVD等の映像がモニターに映ることを確認してください。